

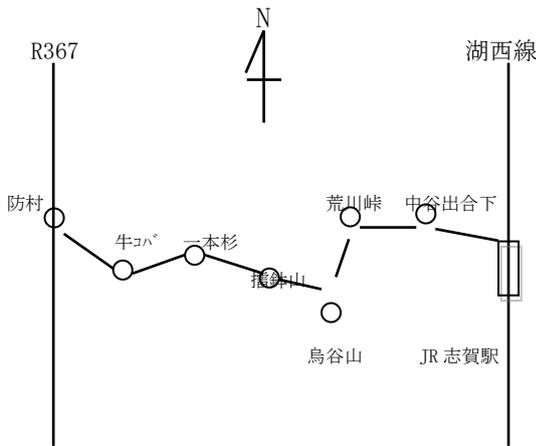
山行報告書

京都田辺山友会

報告者 坪田 宏

山名	比良山系 播鉢山・烏谷山	山行名	第2回秋山トレーニング
ルート	坊村ー牛コバーー本杉ー播鉢山ー烏谷山ー荒川峠ー中谷出合下		
山行日	平成27年9月20日	天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：坪田 宏 サブリーダー：赤松 隆二 男性：津田、竹原、中廣、中田、梅澤、丸山、平尾 女性：染矢、上田、竹原、上杉、北條、江平、大林 合計：16名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
坊村	集		伊藤新道 出合	着	9:30
	発	8:55		発	
牛コバ	着	9:45	播鉢山	着	12:00
	発			発	12:45
烏谷山	着	13:10	荒川峠	着	14:00
	発	13:20		発	
大岩谷 分岐	着	14:45	中谷出合 下	着	15:15
	発			発	
志賀駅	着	16:00		着	
	発			発	

山行報告

シルバーウィーク期間中の秋晴れの日曜で、出町柳のバス停にはバス待ちの登山者が多く臨時バスが出た。約1時間で定刻に坊村到着、地主神社で準備体操後、2班体制で歩き始める。

神社横で登山届を投入、歩き始めは緩やかな登り坂のアスファルト道で途中から地道を約40分で伊藤新道出合に到着、ここは白滝山の登山口である。約15分で牛コバに到着、ここで林道と別れて急な登山道に入る。登山道はジグザクになっており時々狭い道で谷に滑り落ちるのではと思う様な処が何か所か有った。途中で班を入れ替え、2班を先頭にジグザク道からやや緩やかな道を崩れかけた谷筋を3か所横断したが、播鉢山の取り付位置を過ぎた事に気がつき、30分程歩き引き返した。取り付位置には山側に大きな杉の木があり枝に黄色と赤のテープの目印が有った。播鉢山の頂上まではやや勾配があり、踏み跡も見え所々にテープで目印が有るので道間違いは無いようだ。頂上には三角点と播鉢山と書かれた小さな札が掛かっていた。昼食後記念写真を取り、烏谷山に向かうが途中で足釣りがあり会員の助けによる処置を行い、烏谷山に到着。頂上には三角点だけで、狭い場所だが下には琵琶湖や湖西線、街並み。見上げると蓬莱山、打見山が綺麗に見えた。ここからは下りで荒川峠まで約40分で到着、峠から大岩谷分岐を通り、中谷出合下に15時15分に到着、下りの登山道は特に危険な処も無かった。ここからJR志賀駅まで約1時間の歩行で16:00に到着、解散した。

ヒヤリハット

特に無し

9月20日 秋山トレーニング登山・摺鉢山 感想文

秋山、由布岳山行に参加するため、前回の金剛山に続き2回目の摺鉢山トレーニング登山に参加した。

今回は朝からいい天気、絶好の登山日和の中での登山だった。

夏に登った笠岳で、初めて両太ももが攀った経験をしていたので、今日は大丈夫かなと少々不安を抱えながらのスタートであった。

でも、近場の山だからと、軽い気持ちで登りはじめ、割とルンルン気分で登っていたが、途中、ロープが張ってあって、足の置き場を考えながら登らなくてはならない、ちょっとスリルのある場所があったり、また、最後の方は、結構、急な登りが続いた。

私にとってはしんどいなと感じる登りだったのに、みんなはすいすいと登っていくので、ついて行くのがやっとだった。

いつものことながら山の上での昼食は、おにぎりだけで、見晴らしもあまり良くなかったにも関わらず、みんなで食べたら美味しかった。

日帰り装備ということで、荷物も少なくして一番小さいザックを担いで行ったので、軽過ぎという厳しいチェックが入った。

周りを見ると、みんなはそこそこのザックにそこそこの荷物を持ってる。非常の場合の食料とかが入っていたり、共同の装備がはいっていたりするのだと思う。

比べると確かに私の荷物は、いわれたとおり“軽すぎ”だと思った。

秋山のトレーニング登山なので本番に近いような荷物を背負わないとトレーニングにならないことを改めて感じた。

帰りの電車の中で他の人が持ってきた非常食をいただきながら反省しきりで帰ってきた。

北條 都